

### 第3分科会

### 話題:企業による3R事例や容器包装への表示

～ 容器包装の役割、リデュース事例の紹介、表示の在り方 等～

ファシリテーター: (社)プラスチック処理促進協会 阪口修  
書記: ハウス食品(株) 潮田 一款  
参加者: 23名  
県庁; 2名 市町村; 6名 中間処理事業者; 1名  
特定事業者; 14名



#### 【特定事業者の取組紹介】

各社より3R事例の発表があった。  
発表資料は省略。 概要は以下の通り

ハウス食品(株) カスタマーコミュニケーション本部 CSR 推進室 潮田一款  
容器包装として求められている機能と、環境配慮の  
両方を満足する容器包装を推進していることについて  
発表があった。

#### < 発表内容 >

- ・容器包装についての機能
- ・社会変化に伴い、容器包装に求められている内容
- ・ハウス食品の環境に配慮した容器包装の考え方
- ・ハウス食品の3R事例



花王(株)環境・安全本部 柴田学氏

花王の容器包装の削減に向けて社会との取組みと商品におけるプラ削減事例について発表があった。商品のライフサイクルにおいて排出されるCO2は、家庭での使用場面が最も高いという情報提供もあった。



#### < 発表内容 >

- ・花王の環境宣言
- ・花王のUDに対する考え方
- ・花王の3R事例

明治乳業(株)生活環境室 嶋田美知子氏

容器包装の最大の役割は、内容物の品質を保持することにある。更に、食品の原材料などを容器に表示し、お客様への情報伝達の手段としても利用される。



乳製品の容器は法律で定められている物もあるが法を順守しながら、牛乳びんのプラ製キャップやラクトアイスの蓋の改良など、小さい容器をより環境配慮型容器へ改良することへの取り組みの紹介があった。

< 発表内容 >

- ・容器包装の役割
- ・明治乳業 環境配慮型容器包装ガイドライン
- ・明治乳業の3R事例
- ・商品情報の表示

### 【自治体アンケート結果紹介】

コーディネーターより「容リプラの識別表示」及び「容リプラの広報」についての自治体アンケート結果の紹介があった。発表資料は省略。

概要は以下の通り

- ・容器包装の処理において、指定法人を利用している自治体でも独自処理をしている自治体でも、大きな差がなく大部分の自治体が、リサイクル識別表示に対して何らかの不満を持ち満足していない。
- ・容リ法の広報については、ほとんどの自治体が、自ら広報すべきと考えている一方で、企業や再商品化事業者等からの情報提供を期待している。

### 【討論】

3R事例発表、自治体アンケートの結果紹介後、第3分科会にて以下の討論がなされた。

CO<sub>2</sub>排出削減などのため、バイオプラスチックの採用や添加剤を使用することについて、3Rの側面から何か課題などはあるか？(事業者)

・現状の容リプラにバイオプラスチックが混入すると品質が落ちるので困るという意見がある。(当協会)

・店頭回収している容器包装には、たまごパック用のバイオプラスチックが増加しつつある。(事業者)

店頭回収している容器包装の内訳は、PET50%、OPS30%、残り20%がバイオプラスチックを含むその他プラスチック

・軽量化のため、添加剤を使用しているが、リサイクルに影響を与える量は使用していない。(事業者)

・PPにフィラーを入れて電子レンジ対応している容器があるが、リサイクルは難しい。(事業者)

リサイクル識別表示の課題に関し、今後、どのように進めていくのか？(事業者)  
・課題は認識している。今回のアンケート先は全自治体の約半数弱なので、来年度残りの自治体にアンケートを行い検討を続けていく。(当協会)

以上